



次のページでトリプルAを解説！

私、今日から トラックドライバーに なります！

第一話
目指せ！
トリプルAのドライバー



綾瀬小陽 (22)
トラックドライバーに憧れ、入社してきた
明るく元気な新人ドライバー。初任運転
者の研修初日を迎え、ワクワクドキドキ
のドライバー人生がスタートした。



山岡大輔 (40)
元トラックドライバーで、現在は運行管理
者として指導にあたる。常に現場の声に
耳を向け、ドライバーが安心して働ける環
境づくりに努める。



速水涼 (30)
運転技術が高く法令にも詳しい、周りか
ら一目置かれる先輩ドライバー。社内では
いつもクールだが、熱いハートを持つ
て仕事と向き合っている。



お客さまによるこぼれる 「トリプルA」のドライバーになるために 荷物を安全に届けることだけが仕事ではありません

目指せトリプルA!

「トリプルAのドライバー」とは、まずは「あんぜん」に荷物を届けること。次に到着後、印象の良い「あいさつ」をしっかりする。そして退出時にお客さまから受領書はサインをもらうだけでなく、「ありがとう」と言われる「ドライバー」のことです。

そしてトリプルAのドライバーになる前提として、指導・監督指針にある「トラックを運転する場合の心構え」を身につけていくことが欠かせません。



ドライバーは運転中、瞬時の判断ミスで一生の責任を負う事故を起こしてしまう恐れがあります。それを防ぐために「正しい判断」ができるよう、安全教育を通じて危険を回避する知識を得ることが欠かせません。その教育のひとつが、指導・監督指針にある「トラックを運転する場合の心構え」です。

そこには「正しい運転姿勢」があり、安全への考え方や取り組みの姿勢が含まれています。それを身につけておくことで、万一周囲に危険なドライバーがいても自分の安全行動(事故を回避する運転)がとれ、安心してトラックに業務し続けられるのです。また安全は、交通事故により「痛い・つらい・悔しい・悲しい」思いをしないよう、自分を守るために実践するものでもあります。

このような心構えを持ってハンドルを握ることが、トリプルAのドライバーに近づくための第一歩になります。



プロ野球選手なら、
打率3割で一流!

プロドライバーなら、
あんぜん
10割が
当然!

さらに!

お客さまから名前と呼ばれて一人前



運送会社の仕事は、荷主企業と配送先との間で交わされた約束を代行している約束代行業です。ドライバーが荷主企業に行けば運送会社の代表として見られます。また配送先に行けば荷主企業の代理として見られるのです。代表であり代理として働くドライバーの仕事とは、「物流業」以上に接遇マナーなども含めた「物流サービス業」なのです。

「トラックを運転する場合の心構え」で求められる「あいさつ」は、品質のひとつ。接客応対などで品質を安定的に提供していくことで、お客さまが安心を得られ、ありがた〜につながっていきます。そうしてはじめて「トリプルA」のドライバーといえるのです。

お客さまからよるこぼれる「トリプルA」のドライバーになるために。まずは「あんぜん」、次に「あいさつ」、そして「ありがとう」と言われるよう取り組んでいきます。

